

千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭に参列

(公財) 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会主催

令和2年10月19日(月) 千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて秋篠宮皇嗣殿下・同妃殿下をお迎えして
秋季慰霊祭が挙行されました。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑には現在37万69柱の御霊が奉安されています(令和元年5月27日現在)

昨年当会関係のウオッゼ島より帰還した48柱の御遺骨は来年春の拝礼式にて納骨予定です

今日の東京地方は正午頃から小雨の降る肌寒い天気でした

コロナの影響で参列者の人数を縮小しての慰霊祭となりました

遺族関係は11都府県の遺族代表・10の遺族会代表が参列しました

式典は午後1時、秋篠宮皇嗣殿下・同妃殿下が御臨席になられ、奉仕会理事長による開式の辞、

国歌吹奏、献茶の儀、奉仕会会長の式辞、昭和天皇御製奉誦、上皇陛下御製誦、

音羽ゆりかご会による童謡唱歌奉唱、内閣総理大臣の追悼の辞(代読)

秋篠宮皇嗣殿下・同妃殿下のご拝礼、参列者一同もあわせて拝礼、1分間の黙とう。

秋篠宮皇嗣殿下・同妃殿下がご退席になられる。

陸・海・空・各自衛隊代表部隊拝礼

次に献花、内閣総理大臣(代理)に続いて日本遺族連合会会長、水落敏栄氏を先頭に遺族会代表が献花、
御霊に感謝の誠を捧げ、日本の繁栄と不戦を誓ってまいりました。

国会議員・自衛隊関係者・参列各関係者が献花、奉仕会理事長の閉式の辞によって式典は滞りなく終了。

式典の間には自衛隊音楽隊による奉楽があり厳粛なる式典でございました。

マーシャル方面遺族会

会長 高林芳夫